

授業科目 公衆栄養学 II

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	健栄
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			○
【概要・一般目標：G10】				
公衆栄養学 I、II、公衆栄養学実習 I、II を通じて、地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報および住民ニーズを収集分析し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。公衆栄養学 II では、公衆栄養マネジメントの理論、公衆栄養アセスメント、計画、実施、評価の理論と方法について修得する。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆栄養マネジメントの概念と枠組みについて、イメージし、記述できる。 2. 対象や目的に応じた公衆栄養アセスメント（食事調査等）方法を選択しできる。 3. 食事調査（食事記録法）を実施し、栄養素レベル、食品群レベル、料理レベル、食事レベルの解析と評価ができる。 4. 食事と関連因子の関連についての解析と評価ができる。 5. 自治体等の健康・栄養データから地域の栄養課題を読み取り、栄養疫学的な解釈ができる。 6. 対象集団の課題や社会のニーズにあった目標設定ができる。 7. 公衆栄養プログラムの計画を立案できる。 8. 公衆栄養計画の評価計画を立案できる。 				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	公衆栄養マネジメントの概念、プロセス、アセスメント項目の設計		1	講義
2	公衆栄養アセスメント：栄養アセスメントの種類、食事記録の留意点		2	講義
3	公衆栄養アセスメント：食事記録の解析方法（栄養素、食品群別摂取量）		3	講義
4	公衆栄養アセスメント：食事評価法（食事バランスガイド等を用いた診断）		3	講義
5	公衆栄養アセスメント：食事評価法（食事摂取基準を用いた診断）		3	講義
6	公衆栄養学		4	講義
7	前半（食事調査と解析）の発表会		1～4	ワークショップ
8	公衆栄養マネジメントの方法、健康、栄養データから課題の把握		5	講義
9	栄養課題に対応した目標の設定方法		6	講義
10	目標から対策へのつながり（計画の体系化）		7	講義
11	自治体の栄養プログラムの種類		7	講義
12	自治体の栄養プログラムの事例		7	講義
13	公衆栄養計画の評価		8	講義
14	後半（自治体の公衆栄養計画）の発表会		5～8	ワークショップ
15	まとめ			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	わかりやすいEBNと栄養疫学	佐々木敏	同文書院	2010・2,500円
参考書				
その他の資料				
【評価方法】 出席、筆記試験、積極的参加の程度		【履修上の留意点】		